

今月は「大腸 sm 癌の内視鏡治療後の長期経過」というテーマでお届けした。基本的には生命予後の極めて良い大腸 sm 癌で患者の命を失うことはわれわれ消化器医にとっては残念なことである。一方、大腸 sm 癌の発見頻度の増加と高齢化によるリスクの増加により、内視鏡的に切除後経過観察を行う例やリンパ節転移の危険性が低いと判断して経過観察を余儀なくされる例の増加がみられており、今後、不幸な転機をとる患者様が增加することも危惧される。本号では内視鏡切除後に経過観察が可能な sm 癌の特徴、また内視鏡治療後の局所再発、リンパ節再発、遠隔転移再発の特徴、またそれらの危険性がある sm 癌の特徴が示

され、大変参考になったと考える。さらに大腸 sm 癌の内視鏡摘除後の再発をできるだけ早期に発見するための follow up 法と時期についても data が示された。そして内視鏡摘除後に follow up する条件として、切除前の正確な診断、標本の十分な評価が可能な完全切除、リンパ節転移リスクを正確に評価するための病理との密な連携が最も重要であることが座談会から読みとれたことと思われる。本号が明日からの診療に十分役立つものと確信するとともに、今後の 10 年以上の長期間の大規模な sm 癌 follow up data の集積が望まれる。

# 胃と腸

1月号 (第40巻・第1号) 予告

 発売予定 1月25日  
 定価 2,520円

## 主題／胃癌の時代的変遷と将来展望

|      |                                                                          |         |
|------|--------------------------------------------------------------------------|---------|
| 序説   | 胃癌の時代的変遷と将来展望……………多田消化器クリニック                                             | 多田 正大   |
| 主題   | 胃癌の時代的変遷—診断の立場から……………松山赤十字病院・消化器科                                        | 瀧上 忠彦   |
|      | 胃癌の時代的変遷—疫学の立場から……………大阪府立成人病センター・調査部                                     | 津熊 秀明・他 |
|      | 切除胃癌の時代的変遷—病理学的解析……………国立がんセンター中央病院・臨床検査部                                 | 下田 忠和・他 |
|      | 胃癌診断の現況と将来—放射線診断<br>(デジタル X 線・CT 診断)……………国立がんセンター・がん予防・検診研究センター          | 飯沼 元・他  |
|      | 早期胃癌診断の現況と将来—内視鏡の立場から：拡大内視鏡診断と<br>切開・剥離法導入は胃癌診断をどう変えたか……………福岡大学筑紫病院・消化器科 | 八尾 建史・他 |
|      | 胃癌診断の現況と将来—超音波内視鏡検査……………藤田保健衛生大学第2病院・内科                                  | 芳野 純治・他 |
|      | 胃癌治療の現況と将来—内視鏡治療……………佐久総合病院・胃腸科                                          | 小山 恒男・他 |
|      | 胃癌治療の現況と将来—外科治療……………映寿会みらい病院・外科                                          | 磨伊 正義・他 |
|      | 胃癌に対する化学療法、集学的治療の現状と将来……………癌研究会附属病院・消化器外科                                | 中島 聰徳・他 |
| 主題研究 | <i>Helicobacter pylori</i> と胃癌……………福井大学医学部・第2内科                          | 東 健     |
|      | センチネルリンパ節生検による新しい早期胃癌治療への<br>取り組み—術中リンパ節転移陰性診断の意義……………慶應義塾大学医学部・外科       | 大谷 吉秀・他 |
| 座談会  | これからの胃癌の診断と治療……………慶應義塾大学医学部・外科                                           | 北島 政樹・他 |

## 胃と腸 (第39巻 第13号)

編集 早期胃癌研究会

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802 / 3815-7982

E-mail: itocho@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/itocho/

2004年12月25日発行(毎月25日発行)

1部定価 2,520円(本体 2,400円 + 税 5%)

2004年々々め予約講読料 35,010円

(増刊号 5,775円を含む 13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 文栄社 ☎ (03) 3814-8541

・早期胃癌研究会は、当研究会、早期胃癌検診協会およびエーザイ株式会社の三者の共催で行われている。

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2004, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。

・JELIS &lt; 日本著作出版権管理システム委託出版物 &gt;

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に日本著作出版権

管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

・医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp>

(担当) 今田・飯村・山中・小松原